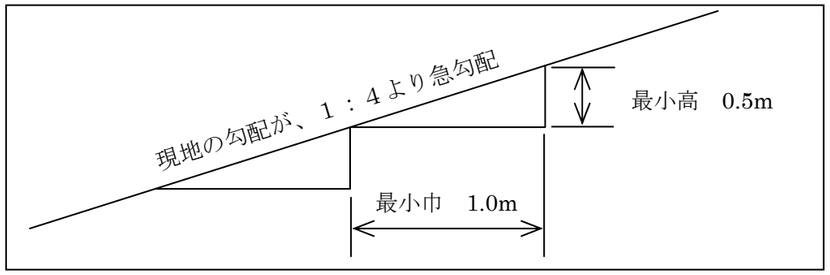
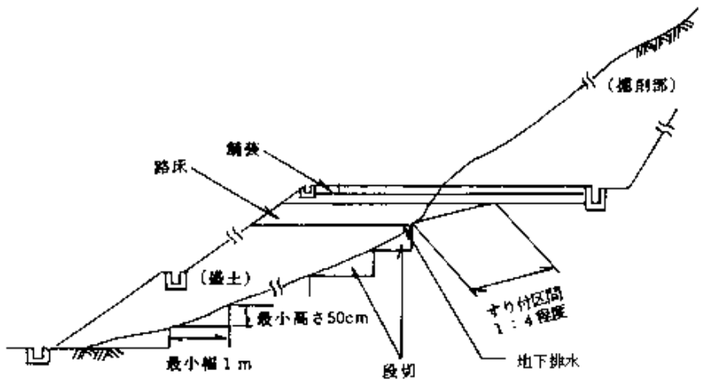
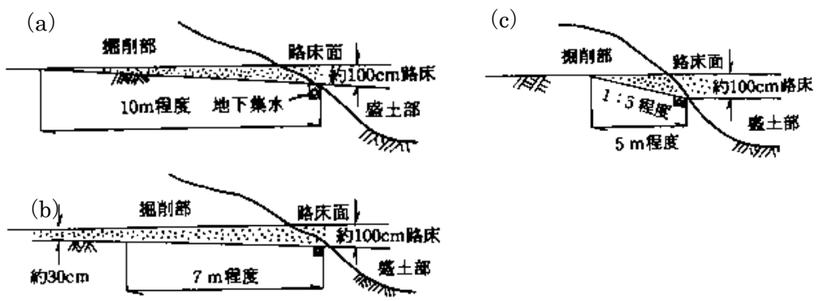
土木工事共通仕様書「図」新旧対応表

旧（平成 22 年度）図	新（平成 23 年度）図	理　由
第１編共通編　2－3－3 盛土工　第２項  **図２－１　盛土基礎地盤の段切**	変更なし	

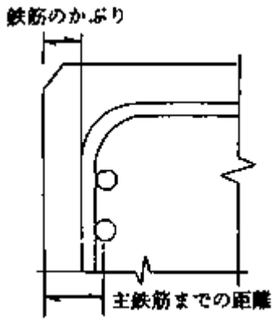
土木工事共通仕様書「図」新旧対応表

旧（平成 22 年度）図	新（平成 23 年度）図	理　由
第１編共通編　2－4－3 路体盛土工　第 8 項  **図２－２　盛土基礎地盤の段切**	変更なし	

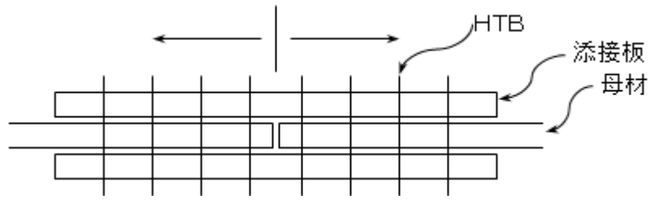
土木工事共通仕様書「図」新旧対応表

旧（平成 22 年度）図	新（平成 23 年度）図	理　由
第 1 編共通編　2－4－4 路床盛土工　第 11 項  **図２－３　掘削（切土）部、盛土部接続部のすり付け**	変更なし	

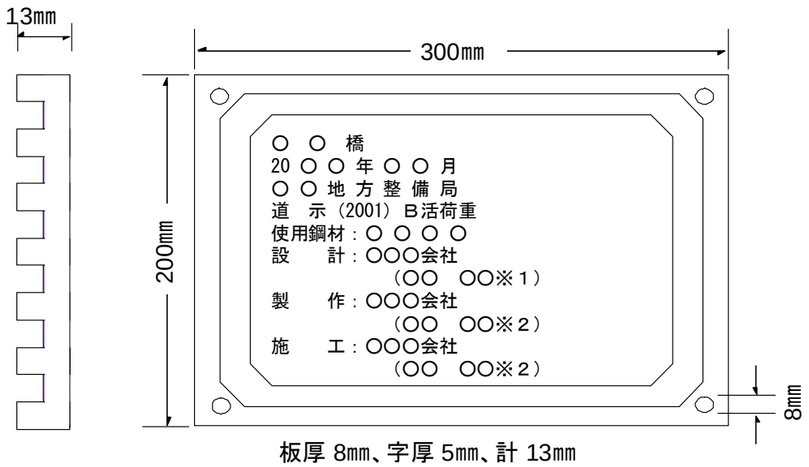
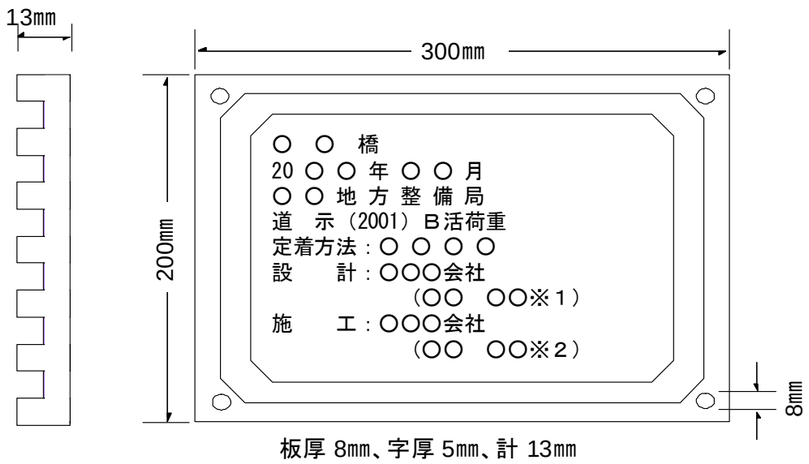
土木工事共通仕様書「図」新旧対応表

旧（平成 22 年度）図	新（平成 23 年度）図	理　由
第１編共通編　3－7－3 加工　第４項  図３－１　鉄筋のかぶり	変更なし 変更なし	

土木工事共通仕様書「図」新旧対応表

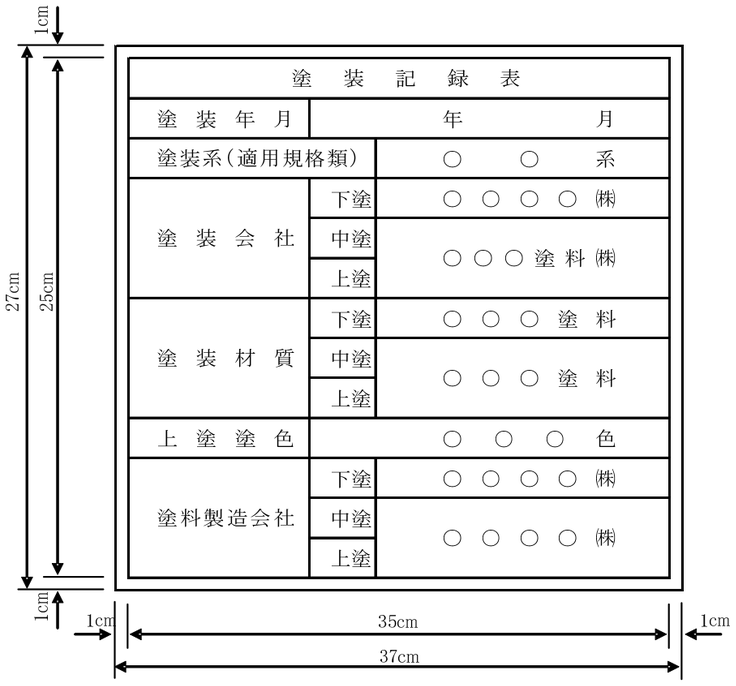
旧（平成 22 年度）図	新（平成 23 年度）図	理　由
第３編土木工事共通編　2－3－23 現場継手工　第５項  **図２－１　ボルト締付け順序**	第３編土木工事共通編　2－3－23 現場継手工　第５項  **図２－１　ボルト締付け順序**	分かりにくいため、左記のように変更（イメージ） 【関東（検査係）】

土木工事共通仕様書「図」新旧対応表

旧（平成 22 年度）図	新（平成 23 年度）図	理　由
第３編土木工事共通編　2－3－25 銘板工　第１項  板厚 8㎜、字厚 5㎜、計 13㎜ ※1　管理技術者氏名、※2監理技術者等氏名  板厚 8㎜、字厚 5㎜、計 13㎜ ※1　管理技術者氏名、※2監理技術者等氏名 **図２－２**	変更なし	

土木工事共通仕様書「図」新旧対応表

旧（平成 22 年度）図	新（平成 23 年度）図	理　由
第 3 編土木工事共通編　2－3－31 現場塗装工　第 17 項		

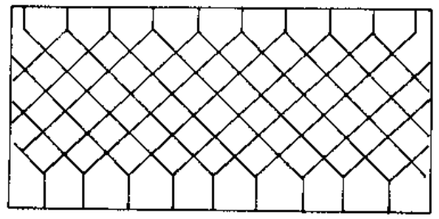


塗　装　記　録　表		
塗　装　年　月		年　　月
塗装系（適用規格類）		○　　○　　系
塗　装　会　社	下塗	○　○　○　○　㈱
	中塗	○　○　○　塗　料　㈱
	上塗	
塗　装　材　質	下塗	○　○　○　塗　料
	中塗	○　○　○　塗　料
	上塗	
上　塗　塗　色		○　　○　　○　　色
塗料製造会社	下塗	○　○　○　○　㈱
	中塗	○　○　○　○　㈱
	上塗	

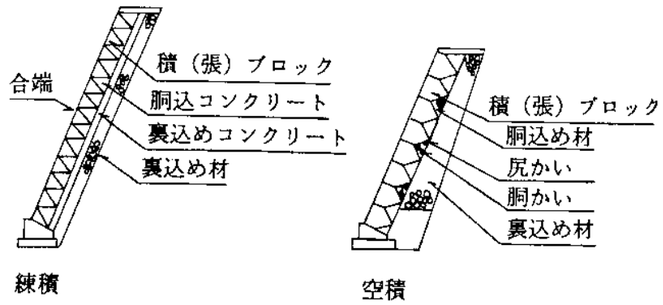
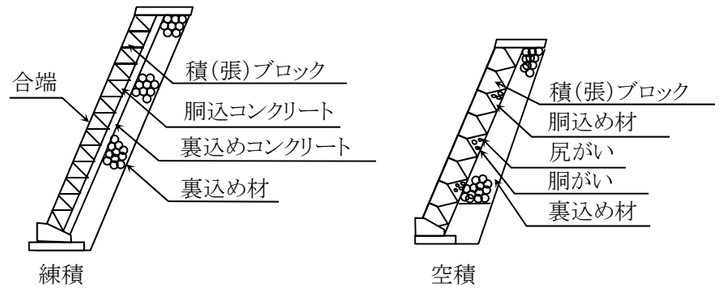
図２－３

変更なし

土木工事共通仕様書「図」新旧対応表

旧（平成 22 年度）図	新（平成 23 年度）図	理　由
第３編土木工事共通編　2－5－1 一般事項　第５項  図２－４　谷　　積	変更なし	

土木工事共通仕様書「図」新旧対応表

旧（平成 22 年度）図	新（平成 23 年度）図	理　由
第３編土木工事共通編　2−5−3 コンクリートブロック工　第８項	第３編土木工事共通編　2−5−3 コンクリートブロック工　第８項	・共仕本文では、「胴がい」「尻がい」と明記されており、本文に合わせて修正。【北陸】
		
図２－５　コンクリートブロック工	図２－５　コンクリートブロック工	

土木工事共通仕様書「図」新旧対応表

旧（平成 22 年度）図	新（平成 23 年度）図	理　由
第 3 編土木工事共通編　2－6－7 アスファルト舗装工　第 4 項 $$密度（g／cm^3）＝\frac{乾燥供試体の空中質量（g）}{表乾供試体の空中質量（g）－供試体の水中質量（g）}\times 常温の水の密度（g／cm^3）$$	変更なし	

土木工事共通仕様書「図」新旧対応表

旧（平成 22 年度）図	新（平成 23 年度）図	理　由
第３編土木工事共通編　2－6－7 アスファルト舗装工　第５項 **開粒度アスファルト混合物以外の場合** 密度（g／cm³）＝ 乾燥供試体の空中質量（g） ／ 表乾供試体の空中質量（g）－ 供試体の水中質量（g） × 常温の水の密度（g／cm³） **開粒度アスファルト混合物の場合** 密度（g／cm³）＝ 燥供試体の空中質量（g） ／ 供試体の断面積（cm²）× ノギスを用いて計測した供試体の厚さ（cm）	変更なし	

土木工事共通仕様書「図」新旧対応表

旧（平成 22 年度）図	新（平成 23 年度）図	理　由
第 3 編土木工事共通編　2－6－12 コンクリート舗装工　第 4 項 $$密度（g／cm^3）＝\frac{乾燥供試体の空中質量（g）}{表乾供試体の空中質量（g）－供試体の水中質量（g）}\times 常温の水の密度（g／cm^3）$$	変更なし	

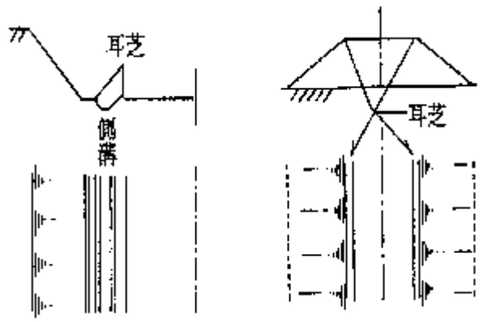
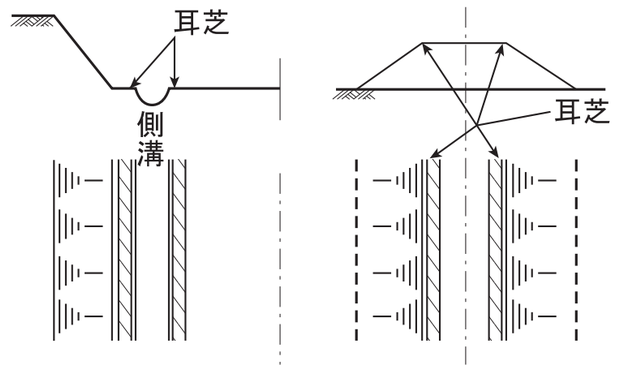
土木工事共通仕様書「図」新旧対応表

旧（平成 22 年度）図	新（平成 23 年度）図	理　由
第３編土木工事共通編　2－12－3 桁製作工　第１項（７） $P_{CM} = C + \frac{Mn}{20} + \frac{Si}{30} + \frac{Ni}{60} + \frac{Cr}{20} + \frac{Mo}{15} + \frac{V}{10} + \frac{Cu}{20} + 5B$ （%） $Ceq = C + \frac{Mn}{6} + \frac{Si}{24} + \frac{Ni}{40} + \frac{Cr}{5} + \frac{Mo}{4} + \frac{V}{14} + \left[\frac{Cu}{13}\right]$ (%)	$P_{CM} = C + \frac{Mn}{20} + \frac{Si}{30} + \frac{Ni}{60} + \frac{Cr}{20} + \frac{Mo}{15} + \frac{V}{10} + \frac{Cu}{20} + 5B$ （%） Ceq 削除	Ceq の計算式は関係ないので削除

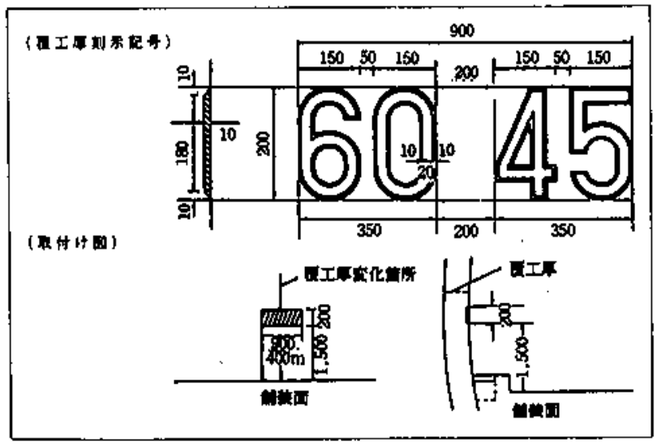
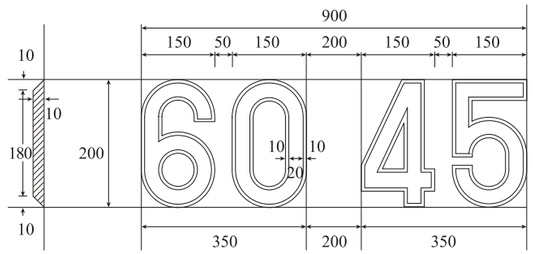
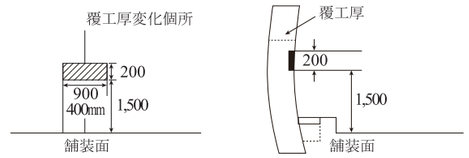
土木工事共通仕様書「図」新旧対応表

旧（平成 22 年度）図	新（平成 23 年度）図	理　由
第３編土木工事共通編　2－12－3 桁製作工　第１項（１３）		
$$Ceq = C + \frac{Mn}{6} + \frac{Si}{24} + \frac{Ni}{40} + \frac{Cr}{5} + \frac{Mo}{4} + \frac{V}{14} + \left[\frac{Cu}{13}\right] \quad (\%)$$	変更なし	

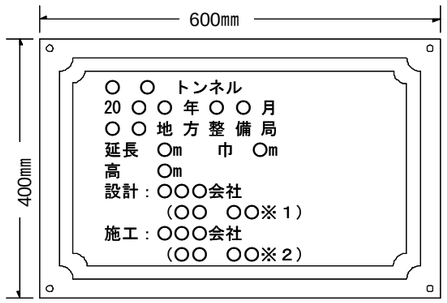
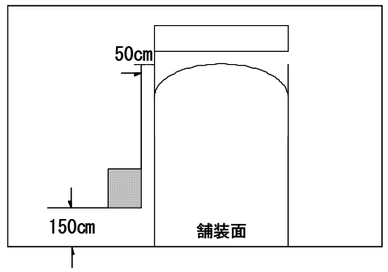
土木工事共通仕様書「図」新旧対応表

旧（平成 22 年度）図	新（平成 23 年度）図	理　由
第 3 編土木工事共通編　2－14－2 植生工　第 6 項  図２－６　耳　　芝	 図２－６　耳　　芝	

土木工事共通仕様書「図」新旧対応表

旧（平成 22 年度）図	新（平成 23 年度）図	理　由
第 10 編道路編　6－5－1 一般事項　第 4 項  図６－１	（覆工厚刻示記号）  （取付け図）  図６－１	

土木工事共通仕様書「図」新旧対応表

旧（平成 22 年度）図	新（平成 23 年度）図	理　由
第 10 編道路編　6－8－6 銘板工 （標示板）  板厚 8mm、字厚 5mm、計 13mm ※1　管理技術者氏名、※2監理技術者等氏名 （取付け図）  **図６－２**	変更なし	